令和8年度介護予防普及展開事業
介護予防施策担当者研修会

拠点がつなぐ
“住民が主役”のとりくみ

北海道京極町
2026.9.7

京極町地域包括支援センター　兼松　亜都子

京極町の概要





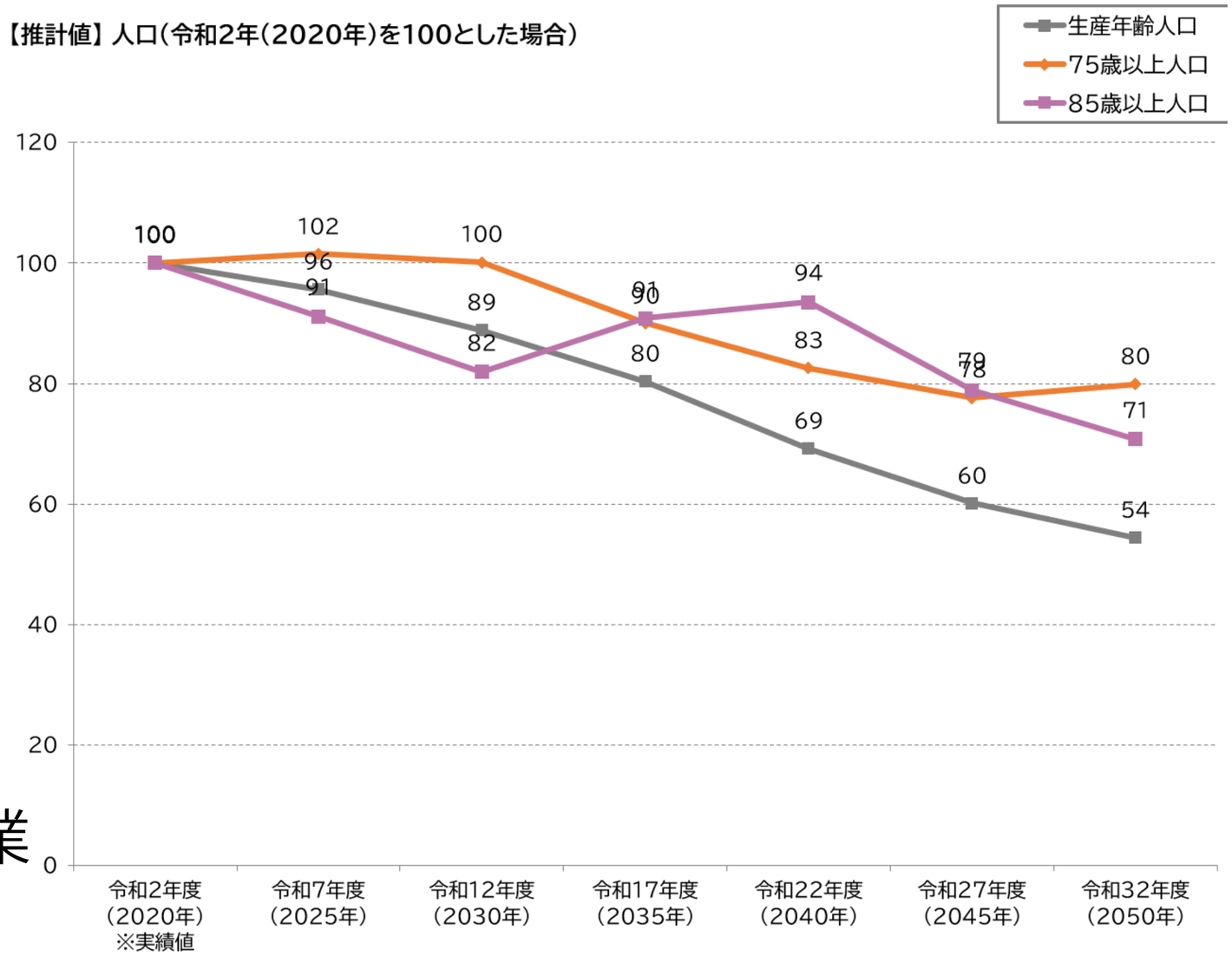
札幌から車で1.5時間
総面積 231㎢
(山林原野が35%、田畑が10%)





京極町の概要

- 人口　2,714人
- 高齢化率　35.2%
- 要介護認定率　15.5%（R8.4）
- 第9期介護保険料　5,795円
  （17町村による後志広域連合
  人口計55,103人）
- 地域包括支援センター 1か所
  （社協委託　職員3.5人体制）
- 介護保険事業所、地域支援事業も社協に委託



総合事業ワークシートより

介護予防・地域ささえあいサポート拠点整備モデル事業

● **背景**

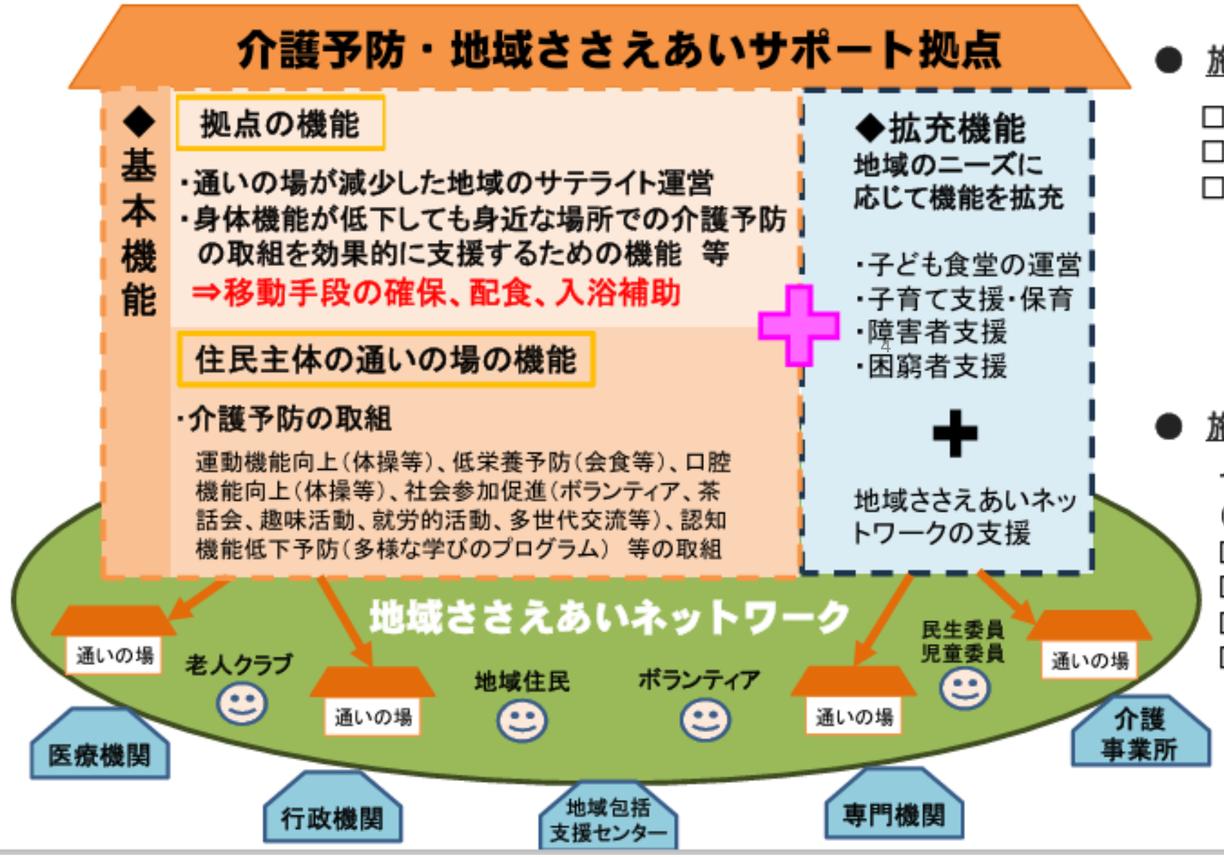
＜現在＞

通いの場は、住民主体の介護予防の取組を推進する場として、高齢者の社会参加を促すとともに、支え合い機能や多世代交流の場として地域共生社会の実現の一翼を担っている。

＜今後＞

・高齢者の健康寿命を延伸するために、更なる介護予防の取組が重要
・人口が減少している地域や中山間地域等を中心に、高齢者支援の担い手が減少
・身近な場所での介護予防の取組を効果的に支援するための拠点が必要
・人口減少等に伴い、地域のニーズに応じて、子育て支援や障害者支援等の機能も担う

● **介護予防・地域ささえあいサポート拠点（イメージ図）**



● **施策の目的**

・身近な場所での介護予防の取組を効果的に支援するための拠点をモデル的に整備
・人口減少・中山間地域等において、あわせて地域のささえあいを効果的に下支えする機能をモデル的に実施

● **施策の概要**

高齢者の健康寿命延伸に資する介護予防の取組を中心に、地域で支え合い、多様な機関や関係者が連携して取組を支援する拠点を、人口減少・中山間地域等に整備するモデル事業を行う。

● **施策のスキーム図、実施要件（対象、補助率等）**

□ 実施主体：　市町村（10か所）
□ 補助率：　国10／10
□ 事業スキーム



● **施策の対象経費**

1市町村あたり5，000万円以内を基本とする。
（内訳）
□ 施設の改修等に係る経費（工事費等）
□ 拠点の立ち上げに係る経費（人件費、消耗品費等）
□ 送迎等に係る経費（賃借料、燃料費、保険料等）
□ 研修等に係る経費（謝金、旅費、会場借料等）

Kyo-coco（きょう・ここ）

京極町共生型地域福祉拠点



2014年住民(前社協会長)から町の福祉のために、と高額の寄付。「未来へつなぐ夢基金」を設置。
2016年築40年の空家と土地(108坪)購入
住民との説明会や勉強会等を重ねる。
町の後押しで「共生型地域福祉拠点整備・促進事業」（道の地域づくり総合交付金）を受け、リフォームと担い手育成研修を実施。



2017年共生型地域福祉拠点きょう・ここオープン。愛称と口ゴを大学などに公募。
社協職員がコーディネーターとして常駐。
2019年NPO法人きょう・ここに運営委託し社協は側面的支援へ。
コミュニティカフェ(常設カフェ)と支えあいステーション(助け合い活動)を主要事業に。



2025年未来へつなぐ基金がゼロとなり、社協の基金による運営、NPOへの無償譲渡。「介護予防・地域支えあいサポート拠点整備モデル事業」を活用し増築。
従来事業の拡充、助け合いネットワーク(担い手支援)を開始。近々支えあいステーションによる訪問B・D、生活困窮者支援就労的支援、孤独孤立対策等も展開予定。持続可能な運営体制を目指す。

オープンまでの道のり

地域の困りごと

・高齢になりちょっとした事も大変（ゴミ捨て、墓参り、草むしり等）
・ひとりで食事をすることの寂しさ
・近所の困っている人をどう手伝えばいい？
・働きたい、外出したいけど一歩踏み出せない
・障がいがあっても地域で活躍したい

地域で支え
助けあうことで解決
していこう

住民ひとりひとりが
役割を持つことで
生きがいづくりと
達成感を

共生型の
地域福祉拠点
を作ろう！

Kyo-coco（きょう・ここ）
京極町共生型地域福祉拠点

Kyo-coco（きょう・ここ）

京極町共生型地域福祉拠点



2014年住民(前社協会長)から町の福祉のために、と高額の寄付。「未来へつなぐ夢基金」を設置。
2016年築40年の空家と土地(108坪)購入
住民との説明会や勉強会等を重ねる。
町の後押しで「共生型地域福祉拠点整備・促進事業」（道の地域づくり総合交付金）を受け、リフォームと担い手育成研修を実施。



2017年共生型地域福祉拠点きょう・ここオープン。愛称と口ゴを大学などに公募。
社協職員がコーディネーターとして常駐。
2019年NPO法人きょう・ここに運営委託し社協は側面的支援へ。
コミュニティカフェ(常設カフェ)と支えあいステーション(助け合い活動)を主要事業に。



2025年未来へつなぐ基金がゼロとなり、社協の基金による運営、NPOへの無償譲渡。「介護予防・地域支えあいサポート拠点整備モデル事業」を活用し増築。
従来事業の拡充、助け合いネットワーク(担い手支援)を開始。近々支えあいステーションによる訪問B・D、生活困窮者支援就労的支援、孤独孤立対策等も展開予定。持続可能な運営体制を目指す。

オープンまでの道のり



近隣・関係者説明会
2回



住民作戦会議
4回



改修委員会3回
運営委員会3回



担い手勉強会
1回

Kyo-coco（きょう・ここ）

京極町共生型地域福祉拠点



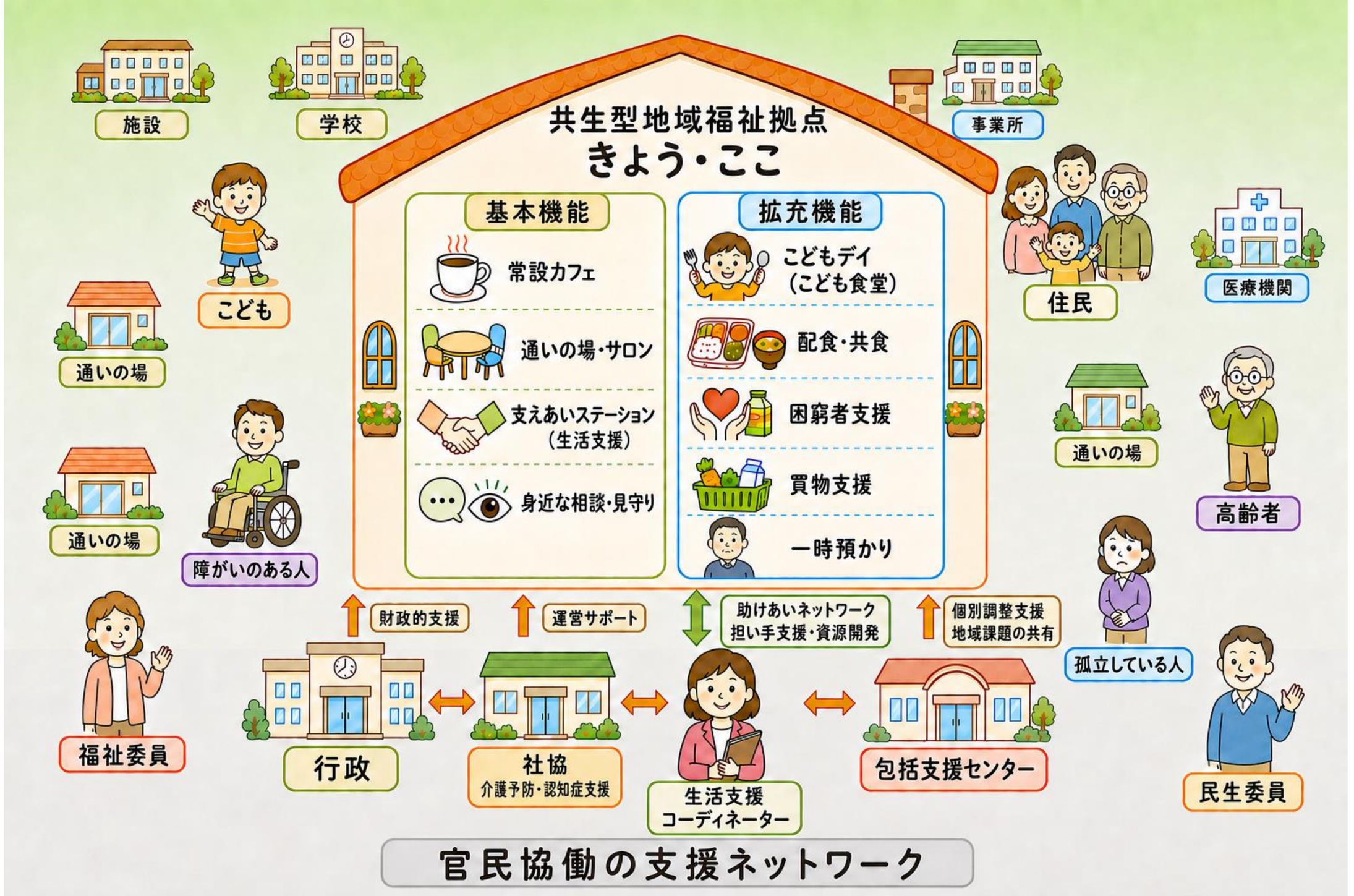
2014年住民(前社協会長)から町の福祉のために、と高額の寄付。「未来へつなぐ夢基金」を設置。
2016年築40年の空家と土地(108坪)購入
住民との説明会や勉強会等を重ねる。
町の後押しで「共生型地域福祉拠点整備・促進事業」（道の地域づくり総合交付金）を受け、リフォームと担い手育成研修を実施。



2017年共生型地域福祉拠点きょう・ここオープン。愛称と口ゴを大学などに公募。
社協職員がコーディネーターとして常駐。
2019年NPO法人きょう・ここに運営委託し社協は側面的支援へ。
コミュニティカフェ(常設カフェ)と支えあいステーション(助け合い活動)を主要事業に。



2025年未来へつなぐ基金がゼロとなり、社協の基金による運営、NPOへの無償譲渡。「介護予防・地域支えあいサポート拠点整備モデル事業」を活用し増築。
従来事業の拡充、助け合いネットワーク(担い手支援)を開始。近々支えあいステーションによる訪問B・D、生活困窮者支援就労的支援、孤独孤立対策等も展開予定。持続可能な運営体制を目指す。


施設
学校
事業所
共生型地域福祉拠点
きょう・ここ
基本機能
常設カフェ
通いの場・サロン
支えあいステーション
（生活支援）
身近な相談・見守り
拡充機能
こどもデイ
（こども食堂）
配食・共食
困窮者支援
買物支援
一時預かり
こども
住民
医療機関
通いの場
通いの場
通いの場
障がいのある人
高齢者
孤立している人
福祉委員
民生委員
財政的支援
運営サポート
助けあいネットワーク
担い手支援・資源開発
個別調整支援
地域課題の共有
行政
社協
介護予防・認知症支援
生活支援
コーディネーター
包括支援センター
官民協働の支援ネットワーク

8月　きょう・ここ　イベントカレンダー

平日はいつでも開いています。　開館時間：10:00～16：00

日	月	火	水	木	金	土
						1 休み
2 休み	3 開館 ささえあう輪13時半～14時 まんでー　14時半～	4 開館 と金の会14時～	5 開館	6 開館 ✿おまかせランチ✿ 12時～13時半 協方ふれあいの会10時～	7 開館 麻雀13時～15時45分	8 ♪こどもデイ♪ 12時～14時
9 休み	10 開館 ささえあう輪13時半～14時 まんでー　14時半～	11 休み	12 開館 寺子屋13時～15時	13 開館 協方ふれあいの会10時～	14 休み	15 休み
16 休み	17 開館 ささえあう輪13時半～14時 まんでー　14時半～	18 開館 と金の会14時～	19 開館 難聴の会10時半～ どんぐりカフェ14時～15時半	20 開館 協方ふれあいの会10時～ ♪こどもデイ♪ 12時～14時	21 開館 麻雀13時～15時45分	22 休み
23 休み	24 開館 ささえあう輪13時半～14時 まんでー　14時半～	25 開館 と金の会14時～	26 開館 寺子屋13時～15時	27 開館 おそうざいマルシェ 15時～16時 協方ふれあいの会10時～	28 開館 麻雀13時～15時45分	29 休み
30 休み	31 開館 ささえあう輪13時半～14時 まんでー　14時半～ お買い物デイ♪					

✿おそうざいマルシェ✿

7/27(木)15時～16時(無くなり次第終了)
1個５００円、８月はとんかつ弁当♪
※当日分はすぐに完売しますので、予約がおすすめです！

✿お買い物デイ✿

みんなで倶知安方面へお買い物に行きませんか♪
8/31(月)　参加費：500円　先着5名まで
※お問い合わせ、申し込みはきょう・ここまで。
※参加はきょう・ここ正会員、支え合い会員の方に限ります。

毎週火曜日10:30頃、
かっこうのパン屋さんが
来ます。

住所：京極町字京極223番地
TEL：0136-55-7061
FAX：0136-55-7062
Kyo-coco（きょうここ）
京極町共生型地域福祉拠点

通いの場の運営



３つの通いの場



通いの場での健康講話



おまかせランチ(会食)



難聴の会



難病の会



常設カフェ

通いの場支援やコミュニティづくり





男性の会



助けあいネットワーク



ウォークラリー



もちつき体験会





町内会茶話会

他分野、多世代、地域のニーズに応じたとりくみ



認知症カフェ



おそうざいマルシェ(配食)



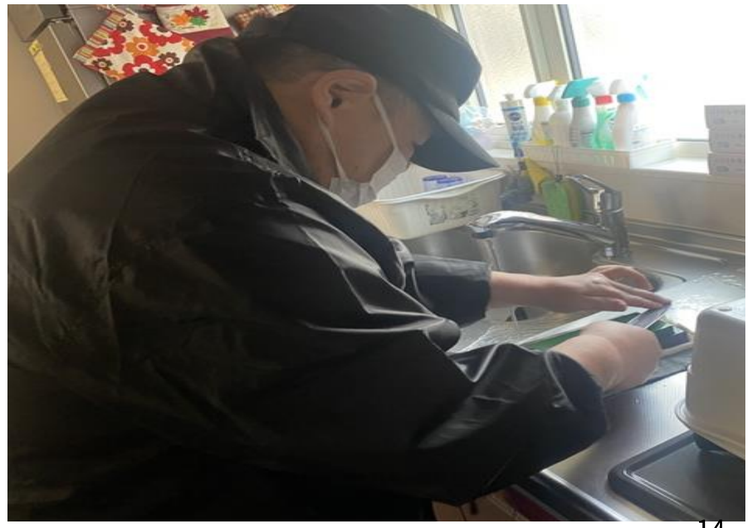
支えあいステーション



お買い物デイ



こどもデイ(子ども食堂)



活躍・交流の場の創出

課題と展望

- 活動が多機能化し、運営や調整スタッフ、会員ボランティアの負担が増大
- 課題のある活動は見直しを行い、負担軽減を図ることで会員ボランティアのモチベーション維持を
- きょう・ここの機能が持続していくための、運営体制の再構築（定期的に会員ボランティアと支援する専門職が意見を出しあい解決策を話しあう場）
- 場所だけでなく、人と人、人と活動を有機的につなぐ要となる人材の定着とそのバックアップ体制の強化
- 担い手の若返り、増員を図るための取り組み（住民座談会等）
- 地域包括支援センターや生活支援コーディネーターによる地域課題や個別の生活課題ときょうここをつなぐ取り組み（地域ケア会議や協議体、介護予防ケアマネジメント）
- 継続的な運営体制を確立していくための事業収入や補助金委託事業等に行政、社協のバックアップ

Kyo-coco（きょう・ここ）
京極町共生型地域福祉拠点



京極町キャラクターゆうくんすいちゃん

ご清聴ありがとうございました。